

農業委員、農地利用最適化推進委員による担い手確保により遊休農地の荒廃化解消に寄与

(長崎県・長与町農業委員会)

遊休農地の発生防止・解消

長与町の位置



解消された農地



【農業委員会の体制】(平成29年7月20日移行)

○新体制：農業委員12人、農地利用最適化推進委員8人、事務局職員3人

○旧体制：農業委員16人、事務局職員3人

1 地区の特徴・状況、課題

○本町は長崎市北部に位置し、主な農産物はみかんである。近年は都市近郊の利点を生かして直売所向けのやさい等の生産がさかん。オリーブ栽培にも力を入れている。

2 活動の成果

○荒廃農地の担い手を確保した結果、0.8haの解消に結びつけることができた。

3 課題に向けた活動(農地利用の最適化の推進の取組と工夫)

○地域の農業委員、農地利用最適化推進委員は、農地利用状況調査で「荒廃化農地」と判断し、鳥獣のすみかとなり周辺農地に被害を及ぼしそうな農地について、引受先探しのために地元農業者に働きかけを行った。その結果、農地の引き受け先がみつき、荒廃化を解消することができた。荒廃化していた農地は再びミカンの栽培がされている。